

Question 7

行動計画に掲げる「目標」は、どのようなものを定めたらよいですか

Answer

1. 「目標」は、このように定めましょう

行動計画は、2015年3月31日までの長期にわたり、計画期間を定めて繰り返し策定・実施するものです。“最終的な目標は何にするのか” “最初は何から取り組み始めるか” を念頭におき、以下の点に留意して“できること” を目標に選びましょう。

◆ポイント

1. 従業員のニーズを踏まえたもの
2. 自社の実情に合ったもの
3. 現状より少しでも労働環境をよくするもの
4. 進捗を客観的に把握できるように数値で表せるもの

◆目標は、大別すると次の3つのパターンになります。

1. 制度の導入や改正

新たな制度を導入したり、実施する。また、既存の制度をよりよいものに変更する。

2. 現行制度の利用状況の改善

制度を周知したり、管理者意識を高めるための研修などを通じて制度の利用改善を図る。

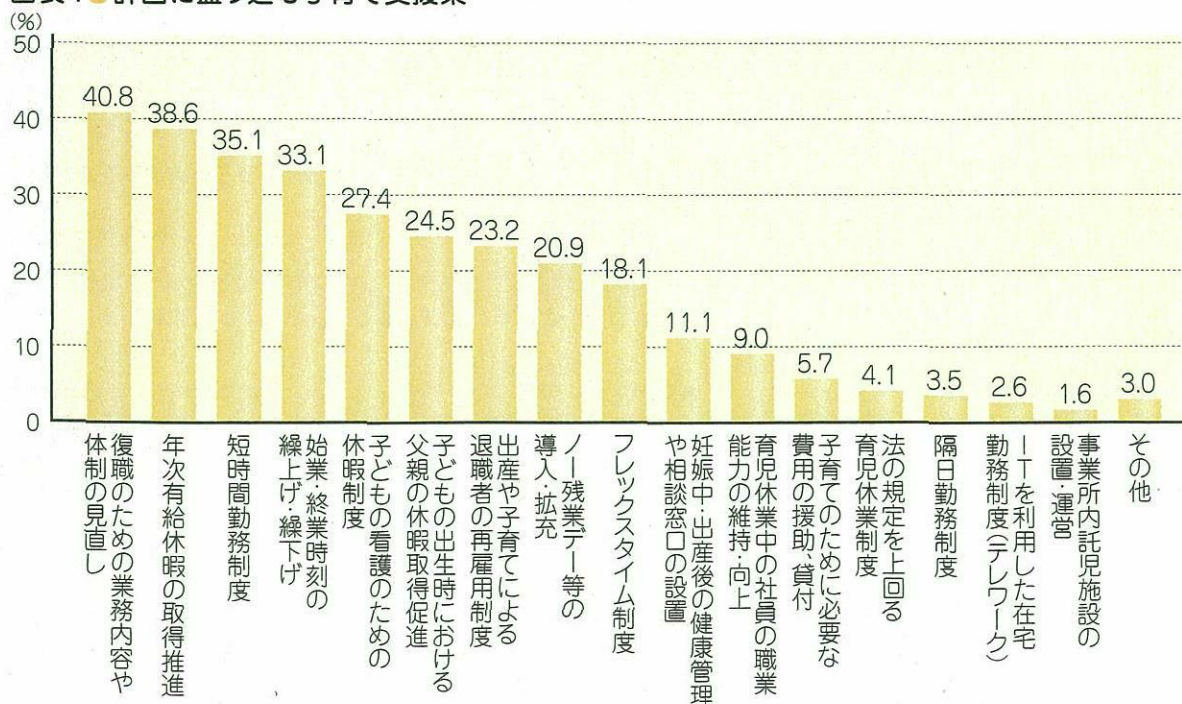
3. 働き方の現状の改善

労働時間の短縮など、働き方を改善する。

2. 行動計画には、このような目標を盛り込むとよいでしょう

図表4は、中小企業が実際に行動計画を策定する場合、目標としてどのような項目を掲げるかを聞いたものです。

図表4 ● 計画に盛り込む子育て支援策



(出典) 全国中小企業団体中央会「中小企業における次世代育成支援に関するアンケート調査」(平成18年9月)